

ひがしおうみ健康ウォーキングマップ

楽しく歩いて健康づくり!
てんびんコース (五個荘地区)



- ① 文化学習センター**
(近江商人博物館)
江戸時代、東近江地域には、天秤棒を肩に全国各地を旅し、行商をした近江商人がたくさんいました。近江商人博物館では、多くの方にこの地域の魅力を再発見していただくために、映像やジオラマを通して、地域の歴史、近江商人の暮らしや文化、商法や家訓、教育など、さまざまな角度から近江商人を紹介しています。
- ② 金堂の町並み**
金堂の町並みは、古代条里制地割を基本とし、陣屋や寺院を中心に形成された湖東平野の典型的な農村集落です。江戸末期から明治・大正・第二次世界大戦終結時にかけて近江商人が築き上げた意匠の優れた和風建築群として商人たちの高い美意識を醸し出した町並みがよく保存されているものとして、平成10年に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けました。
- ③ 観光センター**
西国三十三箇所の第三十二番札所「観音正寺」への登り口また近江商人の本宅の町並が残る、重要伝統的建造物保存地区の金堂集落まで徒歩5分の便利な場所にあります。
営業時間：午前9時から、午後4時30分まで。不定休。
営業内容：観光案内、観光情報
東近江市五個荘地区、ならびに近隣の観光パンフレットを常備しています。
- ⑥ 紅葉公園**
近江商人の塚本仲右衛門が、私財を投じ、自然の地形を生かして、100年前に造園しました。その名からも知られるとおり、晩秋の紅葉は見事なもので、山全体が赤や黄色に染まる姿は、人々の心をなごませてくれます。紅葉は楓が中心です。
- ⑦ 弘誓寺**
弘誓寺を開基した愚咄坊は那須与一の嫡子で、本願寺三代の覚如上人が関東へ下る際に弟子となり、犬上郡石畑に一字を建立しました。正応5年には現在の寺号を受け、その後神崎郡光寺村に移り、天正9年には現在地の金堂に永住することになりました。敷地は移転してきましたが、本尊と祖師親鸞上人真影は、代々受け継がれてきています。国の重要文化財に指定されています。
- ⑧ 観峰館**
観峰館は、財団法人日本習字教育財団が運営する、「書道文化と世界を学ぶ」がメインテーマの博物館です。本館・展示室1(書院)・展示室2(民族館)・別館のユニークな外観を持つ4つの展示棟があり、それぞれテーマに沿った展示で、近代中国の書画や、世界各国の文字資料、日本の教科書、アフリカ・オセアニアの民族文化に触れることができます。
- ⑨ 歴史民族資料館**
旧・五個荘町は、近江商人の発祥地として知られており、特に江戸時代末期から明治にかけて多くの豪商を生み出しました。同館は、そのなかの一人、スキー毛糸の製造などで成功した藤井彦四郎の生家でもある旧宅をそのまま資料館として開放したものです。館内には、近江商人が全国を行脚した際に用いた道中合羽、旅笠、天秤棒、矢立、腰巾着など多くの道具が展示されており、近江商人の息吹を即で感ずることが出来ます。

